

科目一覧へ

アジア共同体論				崔 吉城、鶴澤 和宏	
全学部	1年	後期	2単位	月曜日・3時限	講義
<p>【授業の一般目標】 「アジアの民族と国家」 ITによるアジア共同体教育の構築のために多様な分野の専門家による講義、文化人類学、歴史学、社会学などの分野の専門家による問題追及式プロジェクト型の講義となる。つまりアジア共同体の構築に向けて方法を提案する。講義は平易な言葉で行う。講義はフェイスブックやスカイプなどで中継、東アジアなどに広く公開され、討論もできる。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アジアの民族主義、戦争や植民地による歴史認識から脱皮して国際化、グローバリゼーションへ向けのアプローチ 2. グローバル化から国家主義への潮流を把握する。 3. 東アジアでは良い関係への道に妨げになる問題にも触れる。 					

授業計画

回数	月/日	テーマ	授業内容	実施内容	資料
1	9/25	イントロ	崔吉城・櫛田宏治が全体の講義への内容、授業法		
2	10/2	映画と言論	映画と言論の関係		
3	10/23	植民地と移民	植民地における移民状況		
4	10/30	アジアの軍隊	戦争における軍隊の生活実態		
5	11/6	日本語と国語	帝国の日本語が国語であったこと		
6	11/13	朝鮮半島の南北関係	朝鮮半島の緊張関係を論じる		
7	11/20	台湾と南洋	民族と文化		
8	11/27	日韓文化	似て異なる日韓文化		
9	12/4	満洲映画	満洲映画協会をめぐって		
10	12/11	東南アジア経済	植民地の影響と経済		
11	12/18	国家と戦争	国民国家のナショナリズム		
12	12/25	討論会：「歴史認識」	台湾植民地と戦後中国、韓国、その他の留学生と		
13	1/15	アジア芸術	大衆文化		
14	1/22	植民地	総合討論		
15	1/29	なぜアジア共同体か	鄭俊坤（ワンアジア財団）奨学金授与		
<p>【準備学習の内容】 講義の前に基本的な文献・資料を読んでくる。</p> <p>【成績の評価法】 毎回のコメント（50%）とレポート（50%）とする。</p> <p>【テキスト・教材・参考書】 参考書：佐藤洋治「やがて世界はひとつになる」（非売品）</p> <p>【受講上の注意点・その他】 学生は自ら学習することを願う。したがって講義の内容に関連する情報や知識を事前に調べてから受講し、疑問を持ち、質問するようになることを期待する。講義を映像として記録します。了承ください。</p>					

教育目標	授業評価(中間)	授業評価(期末)	自己点検評価
—	—	—	—

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。